

あそぼう

人と人、
人と社会をつなぐ

vol.
118

令和7年3月31日発行
育成会ノート



「子ども会SNSサミット」 を開催しました

目次

- P2▶兵庫県子ども会育成者大会
- P3▶兵庫県子ども会オセロ大会
- P4▶防災まちあるき2024 in 明石市
- P5▶ふるさと兵庫のお米を知ろう!
- P6~7▶令和6年度 助成事業報告
- P8▶兵庫県立図書館だより

子ども会の皆さまへ
このノートは

-  かならず読んでください
-  日常活動で活かしてください
-  ファイルに残してください
-  各戸回覧してください



ひょうご子ども・若者応援団助成事業

令和6年度 兵庫県子ども会育成者大会

日時：令和6年11月9日(土) 12:30～15:30
 場所：神戸クリスタルホール 参加者：80名

毎年11月に開催する「兵庫県子ども会育成者大会」では、子ども会活動で功績のあった指導者・育成者、また優れた活動を展開している団体の表彰式を執り行います。

令和6年度の受賞者は、兵庫県知事表彰1名、兵庫県社会福祉協議会会長表彰10名、兵庫県子ども会連合会理事長表彰12名・3団体で、永年子ども会活動を通して子どもたちの笑顔を支えてきた方々の、今後ますますのご活躍を期待しています。



安積理事長より開会のあいさつ



ご受賞おめでとうございます



SNSの安全な使い方って？

また、ブロック・市町子連相互の交流や研鑽の機会として、「子ども会SNSサミット」を実施。

コーディネーターに、慶応大大学院メディアデザイン研究所の花田経子さんを招致し、いじめなどトラブル原因になりがちな交流サイト（SNS）との関わり方を、県内の小学生や保護者、教育関係者が参加し、ゲーム形式で多彩なトラブル解決策を学びました。



トラブルにまきこまれたらどうすればいい？



愛知県警が花田さん、愛知県教育委員会協力の下作成した“サイバーポリスゲーム”



講師 花田経子さん

ひょうご子ども・若者応援団助成事業

第11回 兵庫県子ども会オセロ大会

日時：令和6年12月8日(日) 12:30～15:30 場所：神戸クリスタルホール

毎年、県内8ブロックから勝ち上がった子どもたち（低学年32名、高学年32名※今年度は30名）が、静かな熱戦を繰り広げるオセロ大会も今回で11回目。年に一度のこの大会を目指して、綿密な研究を重ね作戦を練って臨む子どもたちの、オセロ盤を見つめる真剣な眼差しに、胸を熱くしながら見守る大人たちも一体となり、会場は緊張感に包まれました。

自分自身の可能性を信じて、目標や夢に向かって努力する力を、オセロゲームの対戦から、子どもたちの未来へのチャレンジに活かされることを願っています。



スイス方式によるゲーム進行で、参加者全員が5回戦を戦いぬきます

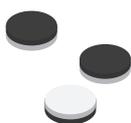
低学年の部 入賞者

順位	氏名	学年
1	呉坪 侑奈さん	小3
2	荻野 晃生さん	小3
3	島元 浩匠さん	小1
4	小和田 新さん	小3
5	西垣 直穂さん	小3
6	辻 瑛太さん	小3
7	陸井貫太郎さん	小3
8	藤原 朔杜さん	小1



高学年の部 入賞者

順位	氏名	学年
1	荻野 絢花さん	中2
2	西角 玲緒さん	小6
3	島元 理功さん	小6
4	松中 歩夢さん	小6
5	山本 航平さん	小6
6	不動 裕一さん	小5
7	大月 遥登さん	中2
8	日坂 仁奈さん	小4



みんなよく頑張りました！



ひょうご安全の日推進事業助成金事業

楽しく学ぼう災!

防災まちあるき2024 in 明石市

日時：令和6年11月23日(土) 9:30～16:30

場所：明石市・ウィズあかし 参加者数：36名 講師：明石高専防災団「D-PRO135°」



まちあるきをしてみて、気がついたことをグループごとに発表

令和7年は阪神淡路大震災から30年。昨年は新年早々、能登半島が地震により大きな被害に見舞われたのは記憶に新しいことです。地震に限らず、昨今はゲリラ豪雨や記録的な大雪など異常気象も多発しています。自然災害はほぼ予測できないからこそ、日頃からの備えが大切。兵庫県子ども会連合会では、毎年県内各地で「防災まちあるき」事業を実施し、**防災・減災の視点**で自分たちが住むまちを見て歩き、新たな発見を通して、災害に強い町やそこでの暮らし方を住民の立場で考える機会を提供しています。

昨年度からは、明石高専防災団【D-PRO135°】と連携し、親子でより深く、また楽しく防災を学んでいます。



まちの中で危険なところはどこだったかな？



いざという時、どうやって避難する？



自分の住んでいるまちの様子を地図で確認



実際に足で、目で体験してみよう!

ひょうごっ子・ふるさと塾助成事業

ふるさと兵庫のお米を知ろう！

日時：令和6年12月1日(日) 10:30～13:30 場所：尼崎市・小田南生涯学習プラザ
参加者数：26名 講師：(株)いづよね 川崎恭雄さん、石原麻緒さん

今回で5回目の実施となる「ふるさと兵庫のお米を知ろう！」事業。日本の主食・お米の大切さ、また自分たちが暮らす兵庫県でも、いろんな種類のお米が作られていることを知るきっかけとなっています。昨年の夏、なかなかお米が手に入らなかったことや価格が高騰しているニュースは、子どもたちの耳にも届き、日本の自給率や農業の仕組みについても、家庭で話題になったのではないのでしょうか。おいしいお米を毎日食べられることは、決して当たり前ではなく、そこにはお米を作る方々はもちろん、たくさんの人の手がかけられていることに意識を向け、大切に味わう気持ちを忘れないでほしいと思います。



兵庫県でとれたお米を食べくらべ

おいしいご飯の炊き方は？



よくかんで味わって…
好みのお米はどれかな？

「助成事業報告」

兵庫県子ども会連合会では、活発な子ども会活動の推進のために、各ブロック・市町子連また単位子ども会への活動助成に取り組んでいます。



いきいき子ども会 [8市町子連で実施 各100,000円の助成(予定)]

地域子ども会の活性化を視野に入れ、いきいきとした子ども会に推進に向けた事業・活動を実施する市町子連への助成

市町子連	事業名	日程	会場	参加者	目的・内容
三木市	子ども会ともだちキャンプ	R6. 8/2~ 8/4	三木ホースランドパーク エオの森研修センター	20名	子どもたちが、自然に恵まれたキャンプ場での仲間やリーダーとの共同生活や野外体験活動を通じて、友達を増やし、たくましい心を育て、地域の子ども会活動並びに青少年活動のリーダーとして成長することができた。
淡路市	令和6年度 淡路市少年少女 オセロ大会・将棋大会	R6. 8/3	淡路市役所	延べ 107名	両大会とも恒例行事で、毎年多くの申し込みがあり、会員が楽しみにしている事業である。 学校や学年の垣根を越えて交流する姿が多く見られ、子どもたちが社会性や協調性を養い、自ら「生きる力」を身につけていく様子を垣間見ることができた。
南あわじ市	①第20回南あわじ子ども会 仲良し将棋大会 ②第12回南あわじ子ども会 仲良しオセロ大会 ③第20回南あわじ子ども会 親善球技大会	R6. 8/4 8/24	南あわじ市役所 南あわじ市三原健康 広場	延べ 125名	将棋大会・オセロ大会では、子どもたちはみな真剣な表情で戦っていた。 球技大会では、ユニバーサルスポーツの卓球バレーを行い、保護者も楽しんでいる様子が窺えた。 こうした活動を通して、子どもたちは、違う学校に通う児童や地域の大人との交流を図ることができた。
加東市	第13回夏休み大会	R6. 8/21	淡路島	54名	うどん打ち体験・試食 始終和気あいあいと、親子間及び参加者同士の交流を深めることができた。
西宮市	リーダーおよびJr.リーダー 育成事業	R6. 9/28 11/10 11/17	若竹生活文化会館 西宮市役所周辺	延べ 59名	高校生・大学生リーダーが中心となって、Jr.リーダーを指導しながら、「子ども会大会」の企画・運営を行った。 こうした活動の継承によって、次世代のリーダーが育つことが期待される。
猪名川町	創立40周年記念事業 こどもまんなかまつり	R6. 10/20	猪名川町 中央公民館 視聴覚ホール他	80名	体験格差をなくそうと、子どもたちが自分の力で取り組める多様なプログラムを実施。みんなで力を合わせることで、未来への希望を感じるなど、この体験を通して子どもたちもいろいろなことを考え、感じられたと思う。
芦屋市	秋の黒豆収穫体験 バス旅行	R6. 10/29	丹波／二森農園 兵庫県立人と自然の 博物館	27名	黒豆収穫体験 子どもたちは、日頃なかなか触れることのできない自然の中で、収穫の大変さを学んだり、精神的にリフレッシュするなど笑顔が広がっていた。
(予定) 尼崎市	他都市交歓会 「雪遊び」	R7. 2/15~ 2/16	尼崎市立 美方高原自然の家 「とちのき村」		①かまくら作り、そり遊び ②天体観測会(好天時)／体育館でのレクリエーション(荒天時)、雪上運動会

指導者・育成者研修会 [10市町子連で実施 各30,000円の助成]

子ども会振興に必要な知識や意識の醸成のため、地域の子どもの指導者・育成者を対象に実施する研修会への助成。

ブロック 市町子連	事業名	日程	会場	参加者	講師	目的・内容
姫路市	少年団体 指導者研修会	R6. 5/11	姫路市商工会議所	56名	兵庫県警察職員	事例や被害額などの現状をもとに、SNSの使い方やルールを守ることの大切さを学ぶ有意義な研修となった。
稲美町	時代に合わせた 子ども会活動について	R6. 5/18	ふれあい交流館 2階ホール	46名	原 忠司さん	子ども会団体数の減少が進む中、子ども会活動の意義を再認識する機会となった。
たつの市	令和6年度 たつの市連合子ども会 総会・講演会	R6. 5/26	たつの市役所 多目的ホール	60名	榎本 英樹さん	『遊び』は無限の可能性！想像力と創造力を育もう ～子どもと大人と一緒に楽しむコツ～をテーマに、参加者同士の交流も深めながら、より効果的な活動につながる学びの場となった。
佐用町	佐用町子ども会 指導者・育成者研修会	R6. 5/30	上月体育館 (ホタルドーム)	23名	兵庫県子ども会 ドッジボール協会	6月開催の「佐用町子ども会ドッジボール大会」に向け、大会運営に関わる大人がルールなどの指導を受け、健全な育成指導に寄与することができた。
伊丹市	2024年度 伊丹市子ども連絡協議会 指導者・育成者研修会	R6. 6/21	伊丹市立 総合教育センター	33名	伊丹市子ども会連絡 協議会 役員および 手作り講習講師	子ども会安全啓発(KYT)の研修、手作り講習会「アルファベットチャーム」に取り組んだ。単位子ども会数が減少していく中で、今後の指導者研修の在り方を考える研修となった。
西宮市	子ども会育成者研修会	R6. 7/10	若竹生活文化会館 3階講堂	65名	子ども会安全啓発指 導者、ひょうご防災特 別推進員・防災士、西 宮市応急手当普及員	KYT(危険予知トレーニング)および応急手当法を学び、子ども会活動を安全に行うための意識を向上させた。
加東市	第13回夏休み大会	R6. 8/21	淡路島	54名		アロマジェルキャンドル作り体験 参加者同士の交流を深めながら、創意工夫の体験活動となり有意義な事業であった。
猪名川町	創立40周年記念事業 (特別講演会の部) 指導者・育成者研修会	R6. 10/20	猪名川町中央公民館 視聴覚ホール	18名	能島 祐介さん	講演会「若者の未来のために「大人ができること」こどもまんなか社会とは何か」を開催。R5年4月から推進されているこども施策「こどもまんなか社会」の内容を理解することができた。
芦屋市	芦屋市 子ども会連絡協議会 ゲーム研修会	R6. 11/10	芦屋市民センター	29名	速水 順一郎さん	単位子ども会で活用できるようにと、ゲームや工作を学んだ。子どもたちの取り組み様子から得られた情報を今後活かしていきたい。
尼崎市	レザークラフト 小物作り	R7. 1/26	尼崎市立 中央北生涯学習プラザ 学習室	33名	もんだ工房	「地場産業を知ろう！」 兵庫県の地場産業である皮革産業を学び、工作を体験することで、子ども会活動にいかに取り入れるかなど把握することができた。

子どもの手による子ども会づくり [53市町子連で実施(予定)]

「子どもの手による子ども会」の実現に向け、子どもが主体的かつ具体的に取り組む子ども会活動への助成

ブロック	市 町	助成金額 (円)
阪 神	尼 崎 市 3	80,000
	西 宮 市 2	40,000
	芦 屋 市 5	60,000
	伊 丹 市 2	30,000
	三 田 市 2	40,000
	猪名川町 1	30,000
	15 団体	280,000
東 播 磨	加古川市 1	30,000
	1 団体	30,000
北 播 磨	小 野 市 2	60,000
	加 東 市 2	60,000
	西 脇 市 2	60,000
	多 可 町 1	30,000
	7 団体	210,000
中 播 磨	市 川 町 2	24,430
	姫 路 市 2	58,200
	福 崎 町 1	18,900
	5 団体	101,530

ブロック	市 町	助成金額 (円)
西 播 磨	たつの市 2	60,000
	赤 穂 市 1	29,150
	宍 粟 市 2	41,700
	太 子 町 3	90,000
	上 郡 町 1	30,000
	9 団体	250,850
但 馬	養 父 市 3	54,000
	朝 来 市 2	51,000
	豊 岡 市 1	30,000
	新温泉町 1	28,000
	7 団体	163,000
丹 波	丹 波 市 3	90,000
	3 団体	90,000
淡 路	洲 本 市 2	39,712
	南あわじ市 2	60,000
	淡 路 市 2	60,000
	6 団体	159,712

「子どもの手による子ども会づくり」活動紹介

どの活動でも共通しているのは、高学年が中心となり準備や当日の運営に取り組んでいること。また、一緒に参加した保護者からは、思った以上に子どもたちが主体的に動く様子や、高学年の子どもたちが、低学年の子どもたちに声かけやサポートをするなど、異年齢交流ならではの「心の成長」が見てとれたことに、事業を実施してよかったとの感想が寄せられています。中には、コロナ禍からあためていた企画がようやく開催できたと喜びの声もあり、今後ますます子ども主体の活動が広がっていくことを願っています。

伊丹市：北河原子ども会「いも掘り大会」



丹波市：地頭子ども会「クリスマス会」

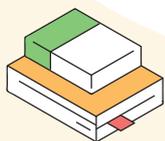


西脇市：田高子供会「気球係留体験」



県子連では、この他にも研修会や学習会等への講師派遣にも取り組んでおります。令和6年度は、たつの市、宝塚市、猪名川町、福崎町子連にてKYT研修会やけん玉体験において講師の派遣を行いました。

令和7年度も、子どもたちが夢のある明るい未来を築き、いきいきと育つ地域づくりのために、子ども会への活動助成を推進します。



兵庫県立図書館だより

vol.8

桜もほころび春めいてきた今日この頃。新しい年度の始まりに、皆様も心を新たにされていると思います。県立図書館も、昨年、開館50周年を迎え、今年から、また新たに歩みを始めています。4月からの新年度も、図書の充実はもちろんのこと、皆様楽しんでいただける展示やイベントを用意します。現在は、お子様と読書を楽しめる「子ども子育て資料室」で、小中高生による創作童話コンテスト「KOBELCO森の童話大賞」受賞作品を展示していますし、毎年恒例の「図書館夏まつり」のほか、光を使った科学実験を行う催しなど、お子様が楽しめる企画を実施します。また、4月から始まる大阪・関西万博にちなんだ展示も行います。連続歴史講座など大人向けの企画も多数実施予定ですので、令和7年度も、ぜひ県立図書館におこしください。

1 ビブリアバトル兵庫県高校生大会2024



11月24日(日)に「全国高等学校ビブリアバトル兵庫県大会2024」を甲南大学の岡本キャンパスで行いました。ビブリアバトルとはバトラーと呼ばれる紹介者がそれぞれ5分間でおすすめ本を紹介し、それぞれの発表の後に2分程度のディスカッションを行います。投票で「もっとも読みたくなった本」を決めるコミュニケーションゲームです。バトラーの高校生がグループに分かれて予選を行い、勝ち抜いた5名による決勝戦をしてチャンプ本を決定しました。今年度のチャンプ本は、『小説の小説』(似鳥鶏著 KADOKAWA刊)でした。

また県立図書館では出前講座で小・中学生向けを対象にしたビブリアバトル体験も実施しております。

2 しょくぶつ探検

～植物あそび体験と葉っぱのミニ図鑑づくり～

12月8日(日)に子どもを対象とした講座「しょくぶつ探検～植物あそび体験と葉っぱのミニ図鑑づくり」を開催しました。植物博士(県立人と自然の博物館の研究員)と一緒に、親子で明石公園を探索し松ぼっくりや葉っぱを集め、「ミニ図鑑」や「葉っぱぐるぐる」などのおもちゃ作りをしました。



3 電子書籍サービスをご利用ください

令和5年4月より県立図書館では電子書籍サービスの提供を開始しております。兵庫県在住・在勤・在学等の県立図書館の利用登録がある方はどなたでも閲覧できます。利用登録はWEBから可能です。事典・図鑑やICTなど各分野の専門書や兵庫の郷土資料、文学全集など約6,500点所蔵しております。また小・中学生向けの自然科学やプログラミングなどの書籍もありますので子どもの日々の学習や探求活動に活用いただけます。自宅や学校で24時間無料でご覧いただけます。

電子書籍利用案内はこちら→



4 子ども・子育て資料室



県立図書館には親子で児童書、絵本、育児本をゆっくり楽しめる子ども・子育て資料室があります。またふるさとひょうご情報室には、たかいよしかず、たなかしんなどの兵庫ゆかりの作家の児童書や絵本、県内に本社があるBL出版の絵本も多くありますのでご利用ください。



子ども・子育て資料室



ふるさとひょうご情報室

開館時間 9:30～18:00

休館日 毎週月曜日・毎月第3木曜日・年末年始(12月29日～1月3日) 特別整理期間(6月頃1週間程度)

アクセス JR明石駅、山陽明石駅で下車、北へ800メートル(明石公園内) 当館に専用駐車場はありません。お車でお越しの際は、公園内または近隣にある有料駐車場をご利用ください。

ホームページ

Facebook

X(旧:Twitter)

Instagram



子どもeye

日本各地で豪雪をもたらした厳しい寒さもようやく緩み、春はもうそこまで来ています。4月にはピカピカのランドセルを背負った子どもたちや、プカプカの制服に身を包んだ中学生、着慣れないスーツと緊張した面持ちに一目で新社員とわかる若者が、社会全体を希望の光で照らしてくれるように感じ

ます。「冬来たりなば春遠からじ」苦しみが大いいほど、やってくる喜びは大いいもの。戦争、災害、様々な格差など、子どもたちを取り巻く環境は厳しい状況ですが、私たち大人が本気で子どもたちの明るい未来を願う先に、たくさんの笑顔がふれることを信じて「育成会ノートvol.118」をお届けします。